



和敬会だより

第147号

発行所
医療法人社団 和敬会
谷野呉山病院
富山市北代5200
<https://www.wakeikai.com>

発行人
理事長 谷野 亮一郎



発行日 令和6年5月1日



谷野芙美子先生 谷野医院院長
50年間 お疲れ様でした。

芙美子先生 お疲れ様でした！

理事長・院長 谷野 亮一郎

令和5年度末をもって、一人の精神科医が富山県の地域精神医療の一線を退いた。

谷野芙美子先生だ。芙美子先生の経歴を簡単に述べる。

1970年 昭和大学医学部卒業 同大学精神科教室入局

以後

・東京大学精神科 上出弘之先生より児童精神科を学ぶ

1974年 谷野医院・谷野呉山病院で診療開始

以後

・メニンガークリニック ジョーンズ先生より家族療法を学ぶ

・高橋哲郎先生より分析的な精神療法を学ぶ

・アライアント国際大学 CSPP（カリフォルニア臨床心理学大学院）にて
齊藤學先生、西尾和美先生の教えを受け、臨床心理学 修士号取得

・吉本雄史先生より現代催眠を学ぶ

・関則雄先生よりアートセラピーを学ぶ

・インサイトカウンセリング 大嶋信頼先生よりFAPを学ぶ

富山県教育委員会や児童相談所、北陸GIDネットワーク等での業務を通し、教育現場の先生方や産婦人科の先生方からの信頼も厚かった。

私に言わせると、まさに「臨床の鬼」である。

私を産んだ2ヵ月後に谷野医院の院長に就任して50年、本当にお疲れ様でした。そして、よくぞ私を含め「きかんぼう」の3人息子を育ててくれました。兄弟同士しょっちゅう取っ組み合いの喧嘩をしていたから、家帰ってきてても休まらなかったんじゃない？ 今更ながら申し訳ない。なんか本当にお別れの挨拶みたいなってきたので、これくらいにしておきます（笑）

これからは、また、これまでとは違う刺激的な日々をお過ごしください。

最後に、あえて言おう、「あとは我々に任せてください！」と。



北川先生 就任のご挨拶



令和6年4月1日より谷野呉山病院に入職しました北川祐一と申します。出身は富山県富山市で、東北大学を卒業し、二年間の初期臨床研修を修了後、五年間

石川県立こころの病院（旧高松病院）に勤務しておりました。同院では精神科救急や老年期の精神神経疾患を中心に診療しておりましたので、その経験を当院でも生かせればと思います。現代はよくストレス社会と言われ、過度なストレスが原因でこころの病を引き起こすことがあります。悩みの種類は人それぞれですが、どれもご本人様にとっては辛いものです。そんな辛い気持ちを気軽に相談できる場を皆様に提供できればと思います。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

金和看護部長 就任のご挨拶



令和6年4月から精神保健福祉法が改正され、医療保護入院者の運用や都道府県等への虐待通報が義務化されました。医療者側と患者さまの思いにずれが生じ

ないように十分にインフォームドコンセントを行い、なぜそう判断したかを記録に残す習慣が身につくように働きかけていきたいと思っています。高齢化社会の中、患者さまもご家族も高齢者となり、入院時点から、退院後の生活を見据えた早期介入が求められます。ひとりひとりの意思を尊重しながら、その人らしく生きる力を引き出せるよう関わるのが大切です。病気を看る視点、生活を見る視点を併せ持った専門職として皆と研鑽を積んでいきたいと思っています。

谷野医院 院長交替のごあいさつ



このたび、3月31日付で、医療法人社団和敬会 谷野医院院長を退任いたしました。

在任中は公私にわたり格別のご懇情を賜り心よりお礼申し上げます。

なお、後任の院長には 角谷陽平医師が就任いたしましたので、ともども変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

医療法人社団和敬会 谷野医院 谷野芙美子



このたび、4月1日付で、医療法人社団和敬会 谷野医院院長に就任いたしました、角谷陽平と申します。激動の時代を生きる私たちにとって、心の健康はかつてないほど重要な課題です。伝統を尊重しつつ、新しい知見と技術を取り入れる「不易流行」の精神に則り、私たちのクリニックは、地域社会の精神医療に真摯に貢献して参りたいと思います。

皆様と共に歩み、地域社会のために尽力していく所存です。今後とも、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

医療法人社団和敬会 谷野医院 院長 角谷 陽平



谷野芙美子先生、
長い間おつかれさま
でした！



第20回 こころの健康を考える講演会を開催しました。



講師の大田垣先生



会場から質問も



あいにくの雪模様でしたが、
たくさんの方に参加いただきました。

令和6年3月2日（土）に、『こころの健康を考える講演会』を4年振りに開催いたしました。当院の大田垣先生を講師に迎え、「うつについて」と題してご講演いただきました。

知っているようで意外と知らない「うつ」の状態や症状、「うつ病」の疫学や治療法、予防法など詳しい話を聞くことができました。

参加いただいた地域の方々から、うつに対する身近な質問を沢山いただき、活発な質疑となりました。

また栄養課より、うつにも関係の深い「腸内環境」を整える機能性食品のサンプルを提供いたしました。今回、無事に第20回を迎えることができ、関係の方々に感謝申し上げます。

第20回こころの健康を考える講演会実行委員会

栄養課 角田南美江

法人の動き

月 日	事 項
2/22 ～ 3/4	やすらぎホール作品展示会
3/2	第20回こころの健康を考える講演会
3/13	職員総会
3/17	アルコール関連問題学会東海北陸地方会を 谷野呉山病院で開催
3/28	法人理事会
3/29	防火訓練
4/1	臨時職員総会

こちらの二次元コード
からwebサイトも
どうぞ。



和敬会マスコットキャラクター
ワケちゃん

谷野呉山病院



職員募集専用



やすらぎホール作品展示会を開催しました。

令和6年2月22日から3月4日にかけて「やすらぎホール作品展示会」を開催しました。今回は「こころの健康を考える講演会」と初めての合同開催となりました。

患者さまに作品の出展を呼びかけると、初めは奥ゆかしく遠慮されていましたが、一人一人にお願いしてみると、細かく可愛いステッチの刺繍（私には真似できない）のコースターやランチョンマットを快く出展いただきました。そのうち「私も」「私のも」と声があがり、中でも、勇気を出して振戦の手で習字を出品された患者さまには、頭が下がりました。

デイケア、外来、病棟合わせて108点の作品は、どれも思わず感心してしまう力作揃い。展示スペースは限られましたが、講演会にお越しいただいた地域の方々に「作品展もご覧になって下さい」と胸を張って勧めることが出来ました。それも何十回と作品展示会を経験した患者さまの力があってこそだと思います。

今後も患者さま、スタッフと協力しあい、このような心暖まる行事を開催していきたいと思います。

やすらぎホール作品展示会実行委員会 中島あき子



紙面に掲載されている患者さまの写真につきましては、掲載に際して、ご本人または保護者のご了承を頂いております。

編集後記

永らく谷野医院の「顔」ともいえる存在だった谷野美美子先生が院長職を退かれました。

未だ実感が伴いませんが、半世紀のあいだ担われた激務・重責には、ひたすら頭が下がる思いです。
(志)